

1月29日 津島市民病院 (15:00~15:50)



津島市民病院へは、1月29日15時から懇談を行い、当局側は3名（病院長、事務長、管理課長）、要請団は、長尾（全医労）、武田（民医連）、橋口・齋藤（自治労連）、安井（津島民商）、吉田（尾張健友会）の6名が参加しました。以下の内容の懇談がされました。

1) 今回の「名指しリスト」に指名されたことについての貴職の意見等について

- ・病院名の名指しがされることは知っていたが、当院は救急患者も多く、まさか名指しされるとは思っていなかった。医療関係者のみに公表するならまだしも、マスコミ通じて一般公表するとは？ましてや、「再編・統合対象」などという打ち出し方も問題で、まさにネガティブキャンペーンである。ただ、出ってしまったことは仕方ないので、撤回ということより、地域に必要な医療を地道に積み重ねて信頼される病院をめざすしかない。
- ・「名指しリスト」と言っても、9/26の厚労省のWG会議の中の資料として出されたにすぎず、該当病院への正式通知はずっと降ろされず、最近になってようやく「再検証見直し」の通知がされたにすぎない。詳しい内容データも示されていない。ので、病院として検証することが出来ていない。

2) 患者・地域住民、職員の反応や寄せられた声など

- ・一部では、「病院が無くなるのか？」との問い合わせも有った。 ・職員の不安も一部あった。
- ・特に問題な風評被害はないと思うが、発表すぐに、臨床研修医から登録予定の辞退申出が1名あった。直接の原因かはわからないが？

3) 貴職から、患者、地域住民、職員への対応や説明について

- ・病院としての一定の対応はしている。市役所もやっている。

4) 当院の現状と、「再検証」対応に向けた方針・計画など

- ・病床運営は、病床機能報告を挙げた2017年の10月より、51床を休床している。しかし、将来に向けて総ベットは現状維持を考えている。

この地域でも「回復期」が大幅に足りていないとの推計であるが、実態として、本当に足りていないのか？疑問である。回復期が少ないからと、回復期を増やしてよいのか？ 当院でも医師確保は大変厳しい。

年度	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
2017年	440	0	345	95	0	0
2018年	440	7	287	95	0	51
2025年計画	440	7	287	95	0	51
差引	0	7	▲51	0	0	51

今後、「働き方改革」への対応もあり、本当にやっていけるのか？という問題はある。

当院の名指しは、B評価の「類似かつ近接」による評価であり、
自動車で20分以内という指標は理解しがたい。高齢化が進む中で、交通アクセスの問題は深刻である。医療圏の中で、役割分担すればよいでは済まされない。

5) その他

- ・地域においては、病院もインフラの一つであり、地域にとって大切な存在である。